

平成 27 年度小児等在宅医療連携拠点事業 計画案

〔事業の目的・概要〕

平成 25 年度、26 年度に実施していた国のモデル事業において得られた成果を踏まえて、在宅医療を必要とする医療依存度の高い小児等が、在宅において必要な医療・福祉サービス等が提供され地域で安心して療養できるよう、福祉・教育などとも連携し、地域のネットワーク化及び人材育成を行い、家族等からの相談支援体制の充実を図りながら、地域で在宅療養を支える体制を構築する。

〔事業内容〕

○在宅医療・訪問看護研究会及び療育支援専門部会の開催

小児等在宅医療連携拠点事業に関する進行管理や課題解決に向けた検討を行う。

○千葉県つながろうマップの維持・更新

在宅医療・介護に関わる団体等が有する在宅医療の資源に関する情報等をもとに作成した、小児等の在宅医療や福祉に関する資源マップ「つながろうマップ」の維持管理及び情報の更新を行う。

○訪問看護ステーションへの研修（委託）

小児等訪問看護の実績がない事業所の現任、新人看護師等を対象とした集合、同行訪問研修を行う。

○相談支援専門員用のガイドラインの活用

「医療的ケアのある子どもに対する相談支援ガイドライン」を研修会等で活用し、人材の育成を図る。

○喀痰吸引研修（委託）

医療的ケアが行える介護職等が不足している地域で、喀痰吸引等医療的ケアを実施できる人材を育成する。

○小児等在宅医療連携拠点事業の成果の公開

「医療的ケアのある子どもに対する相談支援ガイドライン」など、小児等在宅医療連携拠点事業において得られた成果を県ホームページで公開する。

[検討事項]

○医師による実践報告会を通じたネットワークづくり

小児等の在宅医療に実績を持つ医師・医療機関に所属する医師が集まる場を設定し、現状報告や実際に直面している課題の解決方法等を協議しあいながら、顔の見える関係を築いていくため、「小児等在宅医療に実績のある医師による実践報告会」を開催し、ネットワーク化を進める。

○行政職員担当者会議

各地域における医療的ケアのある子どもの在宅支援の現状と取組について情報共有を行い、市町村と共に各地域の地域福祉を考える。

○保健師等の研究発表会

各地域における医療的ケアのある子どもの在宅支援の現状と取組について、独自の取り組み等の共有化を図るため、研究発表会を開催する。